

令和5年度

第2回 茨木市総合交通戦略協議会

(参考資料① アンケート結果・データ整理等)

< 目 次 >

1. 市民の公共交通に対する意見	1
2. タクシー事業者ヒアリング	14
3. 評価指標に関するデータ	16
4. その他	23

令和5年11月20日
茨 木 市

1. 市民の公共交通に対する意見

市民アンケート

◇評価指標の達成状況を市民アンケートにて調査

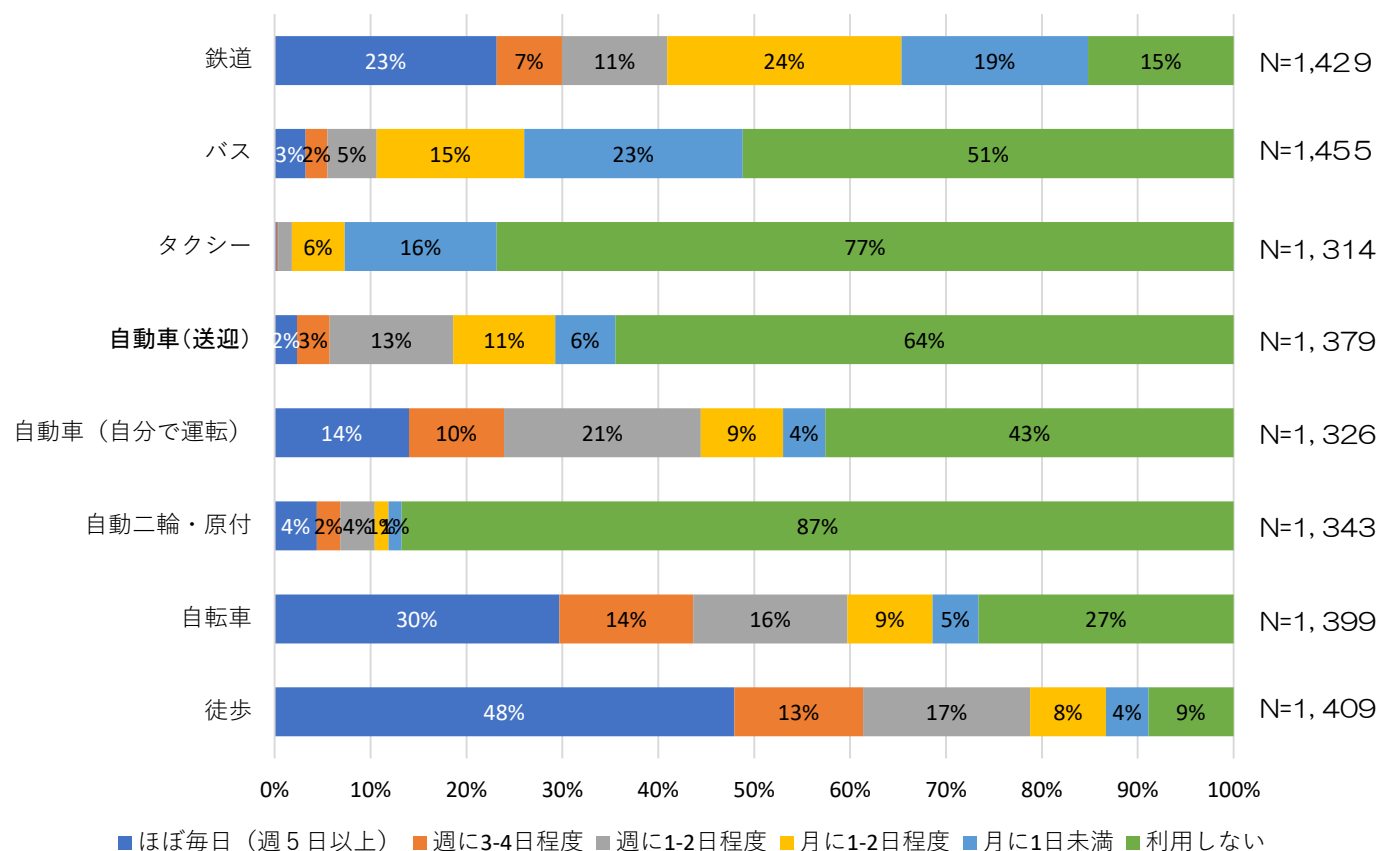
項 目	実施方法・内容等
概要	・ 茨木市総合計画改定に合わせた市民アンケート調査と併せて実施 ・ 現行計画の評価指標の評価に関する設問や、交通施策に対するニーズや意見の把握のための設問を設定
調査日程	令和5年7月5日（水） ～ 7月23日（日）
調査対象	・ 16歳以上の茨木市民 5,000人 ・ 配布数：住民基本台帳より、性別及び年齢分布を考慮した上で無作為抽出
有効 サンプル数	・ 1,632サンプル
調査内容	・ 回答者の基本情報 ・ 移動状況（外出頻度、移動手段等） ・ 市内の移動に関する評価 ・ 交通政策に関する意見 等

1. 市民の公共交通に対する意見

市民アンケート

◇鉄道を「利用しない」との回答が15%となったことから、市内在住の多くの方が鉄道を利用している。

◆交通手段別の利用頻度



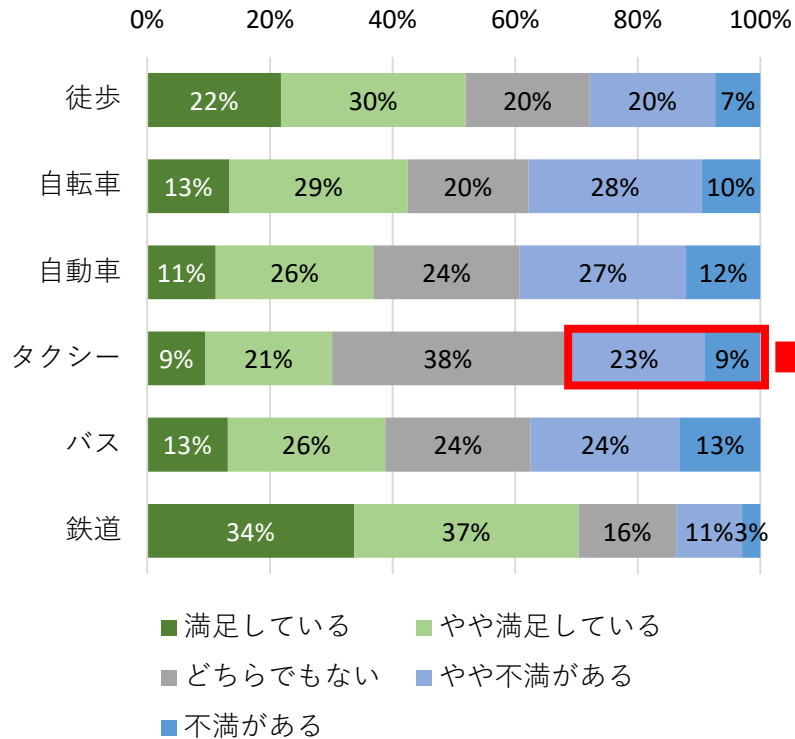
※「未回答」は除いて集計

1. 市民の公共交通に対する意見

市民アンケート

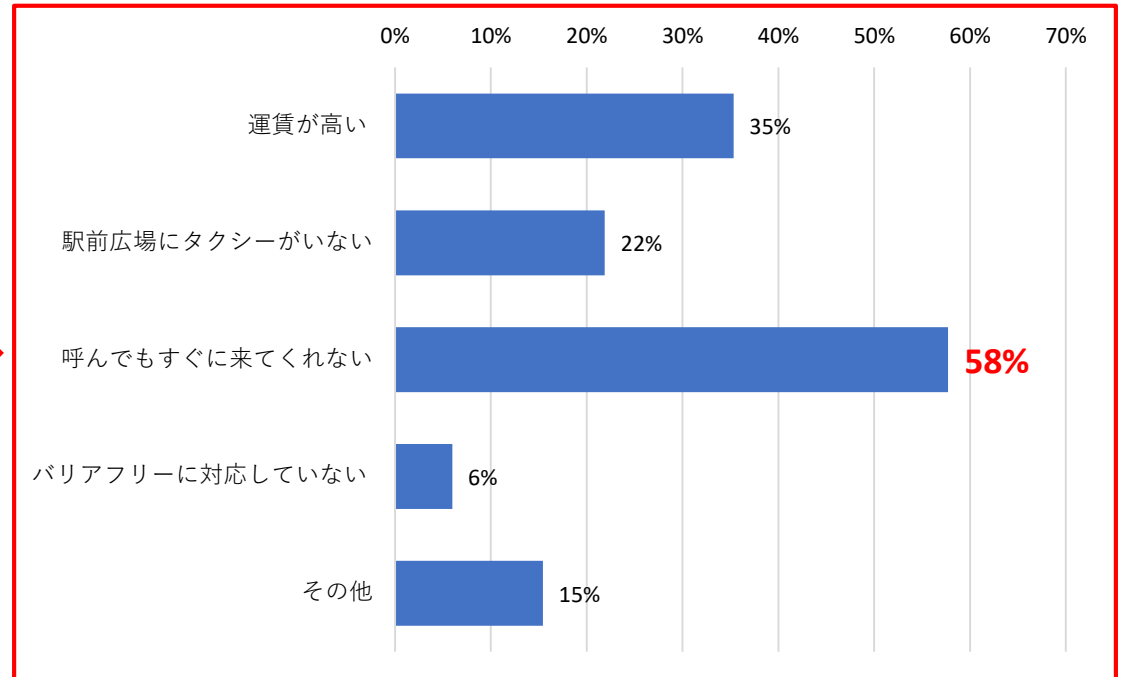
◇タクシーの利用環境の不満点として「呼んでもすぐに来てくれない」ことに不満を感じている人が多い。

◆交通手段別の利用環境に対する満足度



※「分からない」および「未回答・不明」のサンプルは除いて集計

◆タクシー環境に対する不満点(N=201)



代表的な「その他」の意見

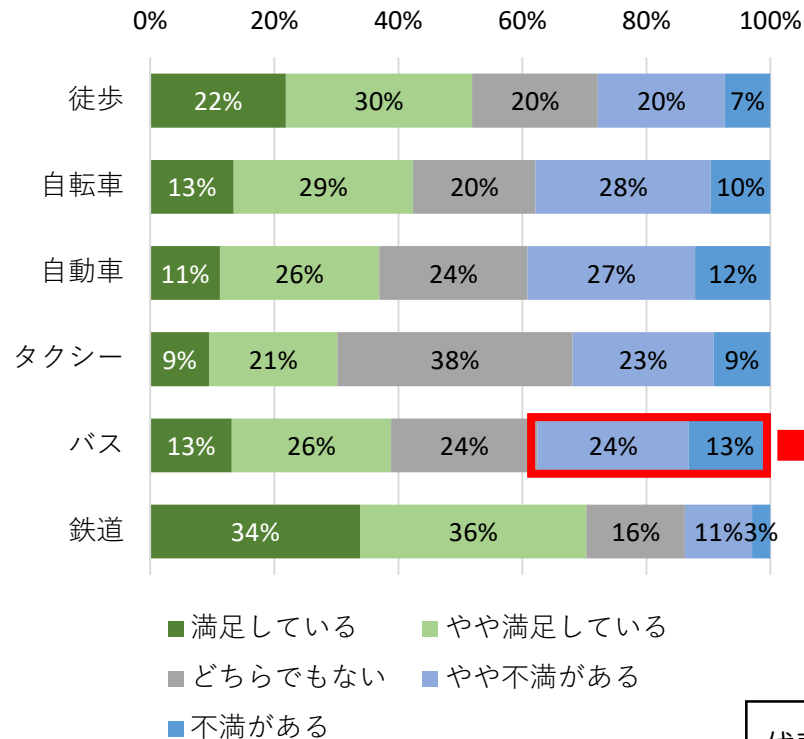
- ✓ 予約できない、雪や雨の日は来てもらえない など（配車：17件）
- ✓ 運転士の愛想が悪い、態度が悪い、運転が怖い など（感情：9件）
- ✓ 料金が低い、渋滞箇所料金が高くなる、送迎料が辛い など（料金：4件）

1. 市民の公共交通に対する意見

市民アンケート

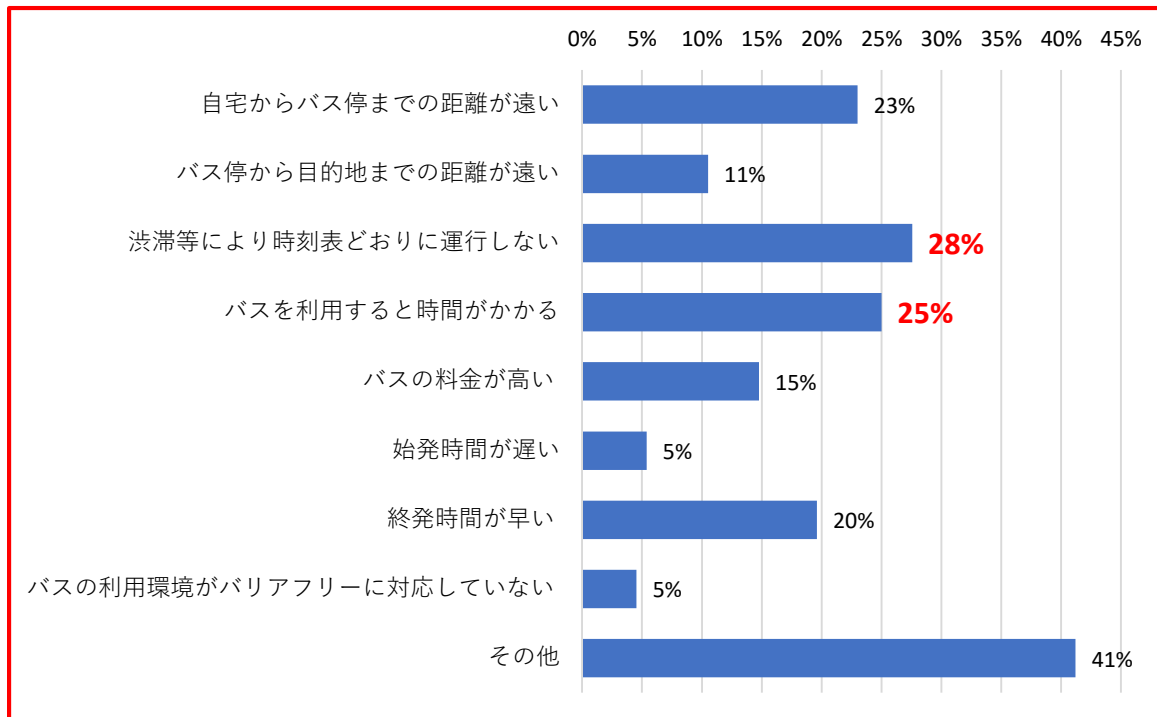
◇バスの利用環境の不満点として、「渋滞等により時刻表通りに運転しない」または「バスを利用すると時間がかかる」との回答が多く、その他意見ではバスの便数に対する不満が多い。

◆交通手段別の利用環境に対する満足度



※「分からない」および「未回答・不明」のサンプルは除いて集計

◆バス環境に対する不満点(N=352)



代表的な「その他」の意見

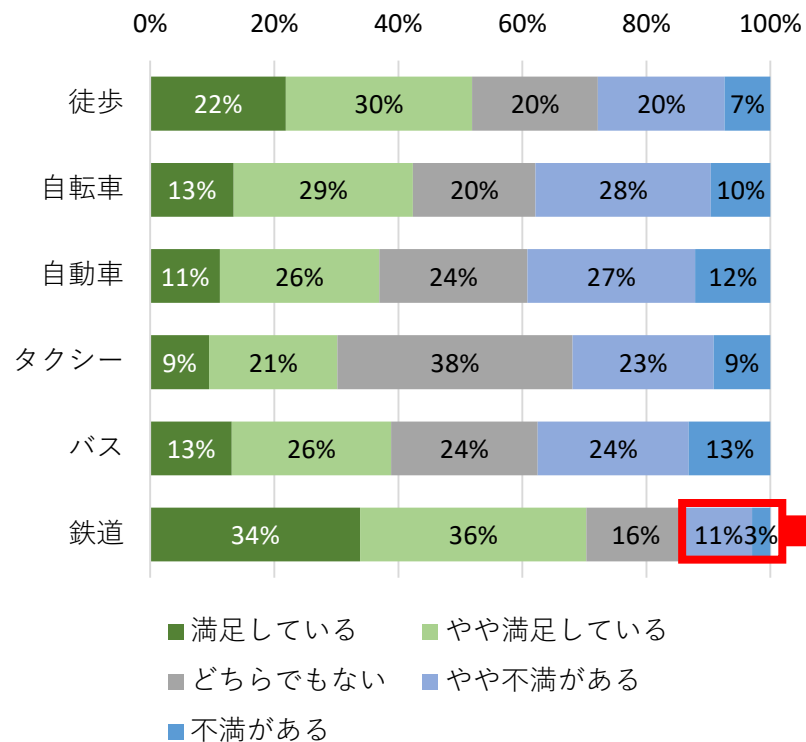
- ✓ 便数が少ない、1時間に1便は少ない など（バスの便数：94件）
- ✓ 目的地までのバスが無い、利用していた路線が無くなった など（路線：22件）
- ✓ バス停に屋根がない、イスが固い、ベビーカーで利用しにくい など（利用環境：11件）

1. 市民の公共交通に対する意見

市民アンケート

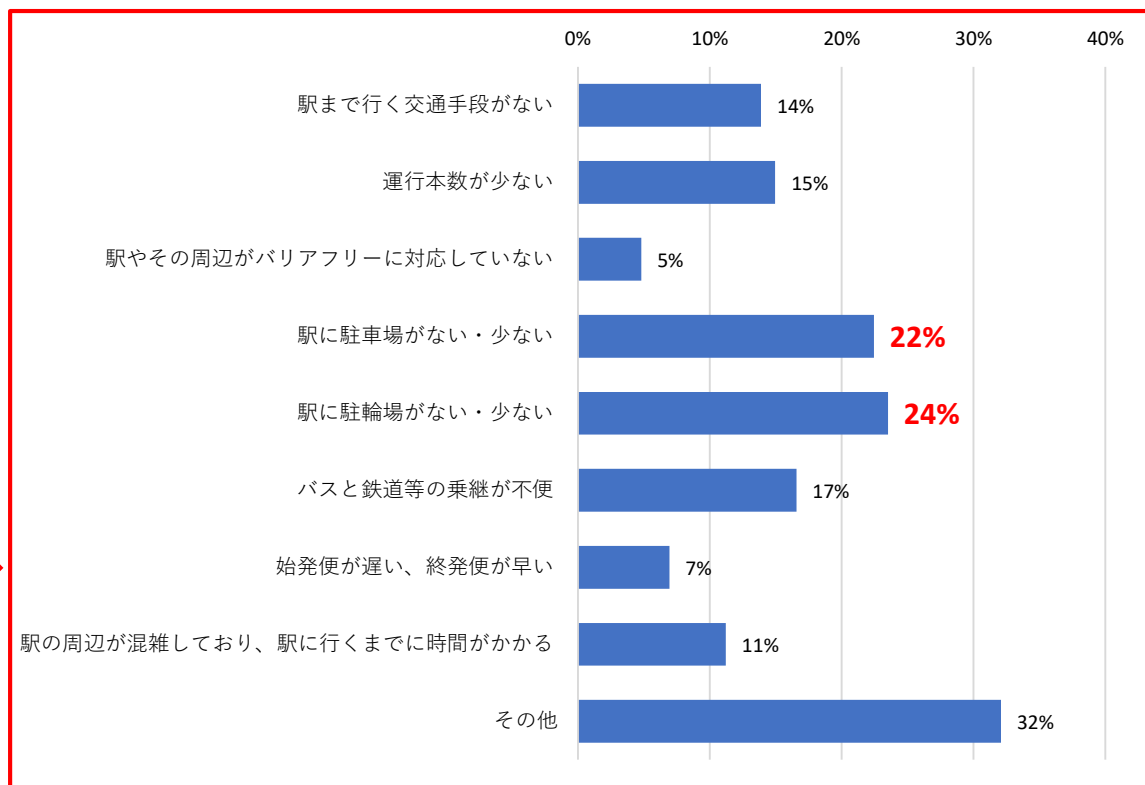
◇鉄道の利用環境の不満点として、「駅に駐車場がない・少ない」または「駅に駐輪場がない・少ない」と回答が多い。

◆交通手段別の利用環境に対する満足度



※「分からない」および「未回答・不明」のサンプルは除いて集計

◆鉄道環境に対する不満点(N=187)



代表的な「その他」の意見

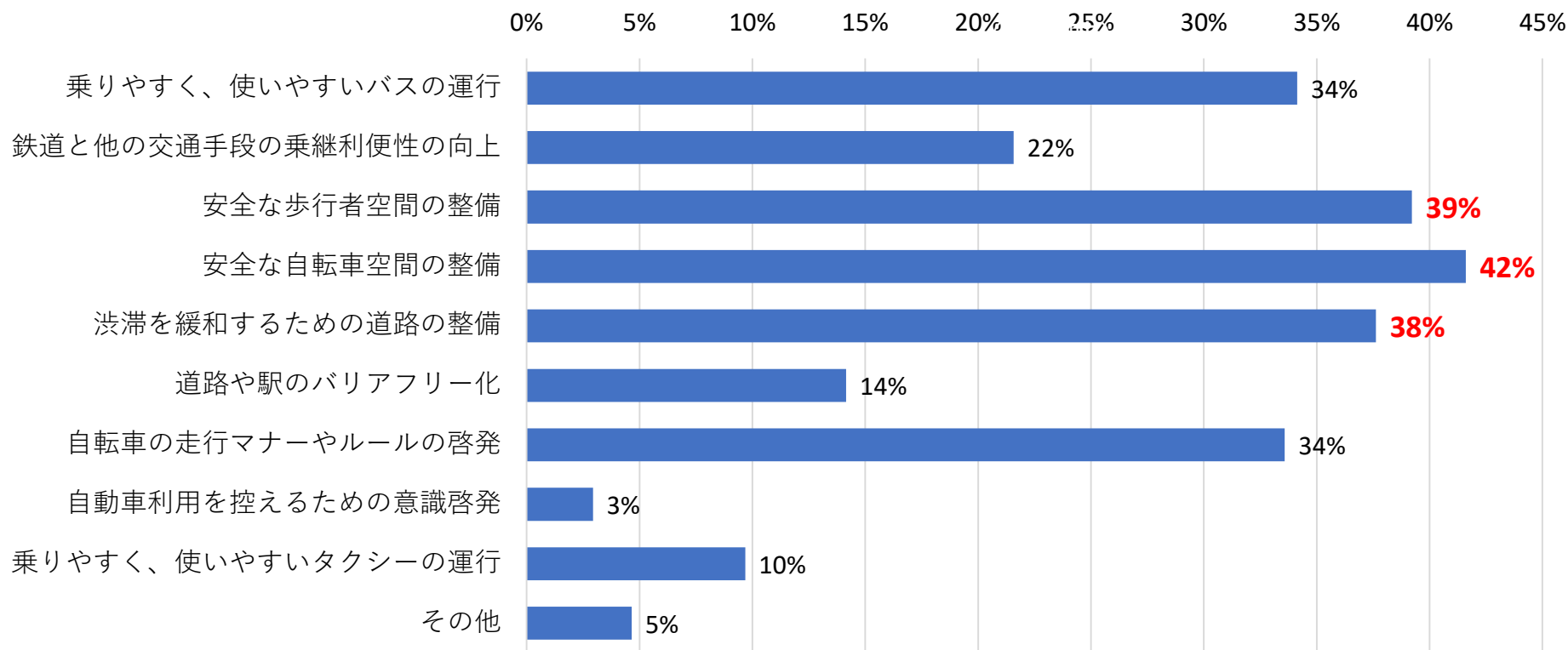
- ✓ 遅延、運休の発生頻度が高い
- ✓ 茨木駅に新快速が止まらない
- ✓ 駅周辺の環境が悪い（交通混雑が発生する。お店が少ない。）

1. 市民の公共交通に対する意見

市民アンケート

◇今後必要だと思う、交通に関する取組として「安全な自転車空間の整備」、「安全な歩行者環境の整備」、「渋滞を緩和するための道路の整備」と回答している人が多い。

◆今後必要だと思う、交通に関する取組(N=1,632)



代表的な「その他」の意見

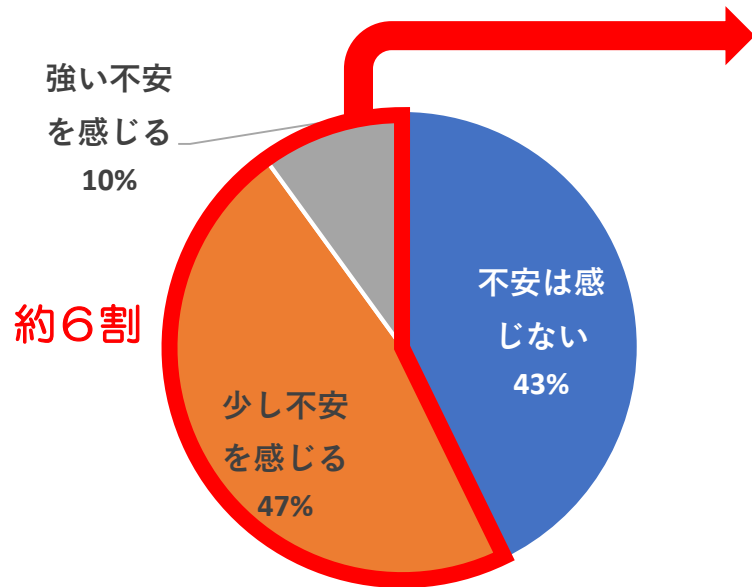
- ✓ 自動車・自転車の運転マナーの向上、路上駐車取締り など（マナー：11件）
- ✓ 免許返納者のバスなど優遇制度、高齢者のバス無料化、安い交通手段 など（費用：9件）
- ✓ 駐車場・駐輪場の新設 など（駐車場：7件）

1. 市民の公共交通に対する意見

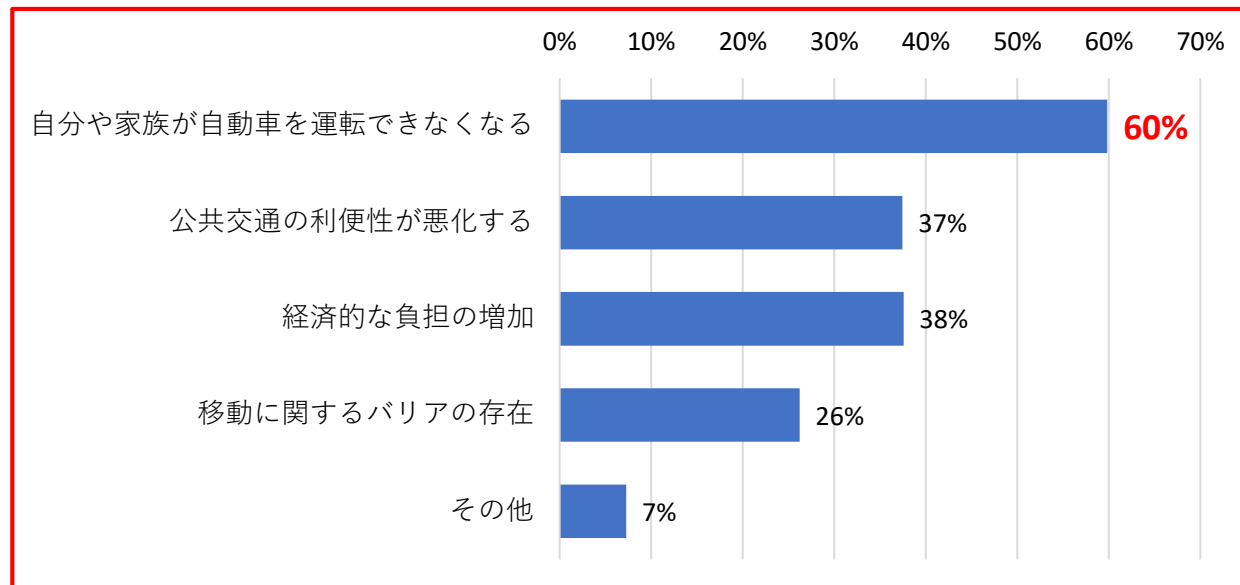
市民アンケート

◇市内移動に対して、約6割の方が「少し不安を感じる」または「強く不安を感じる」と回答。
◇不安を感じる要素として「自分や家族が自動車を運転できなくなる」の回答が最も多い。

◆市内移動に関して、将来的に移動手段の確保に不安を感じるか(N=1,553)



◆不安を感じる要素(N=881)



代表的な「その他」の意見

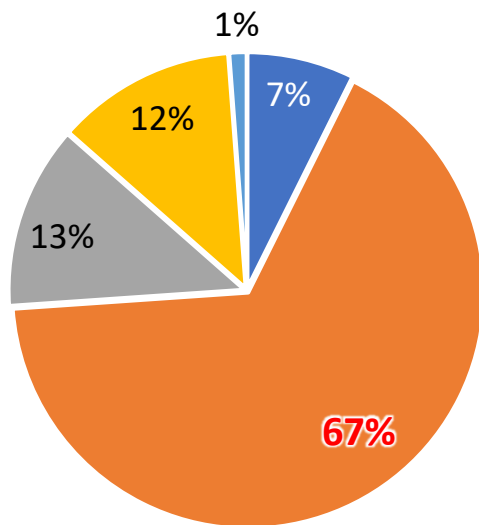
- ✓ 歩行者の利用環境が不安（歩道を通行する自転車怖い等）
- ✓ 自転車の利用環境が不安（走行位置、自動車との共存等）
- ✓ 高齢者が多く、妊婦が公共交通を利用した際に座れない

1. 市民の公共交通に対する意見

市民アンケート

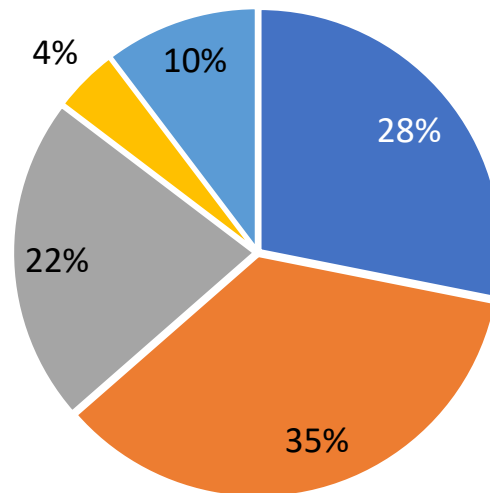
◇利用しやすい公共交通にしていくための取組として、約7割の方が「行政や交通事業者が主体となり、住民も参加して考えるべき」と回答した。

◆利用しやすい公共交通にしていくために、誰が取組を行っていくことが重要か(N=1,514)



- 行政や交通事業者だけで考えるべき
- 行政や交通事業者が主体となり、住民も参加して考えるべき
- 地域住民が主体となって考え、行政や交通事業者は協力すべき
- 分からない
- その他

◆公共交通の確保、利用サービスの向上のために税金を投入することに関する意見(N=1,593)



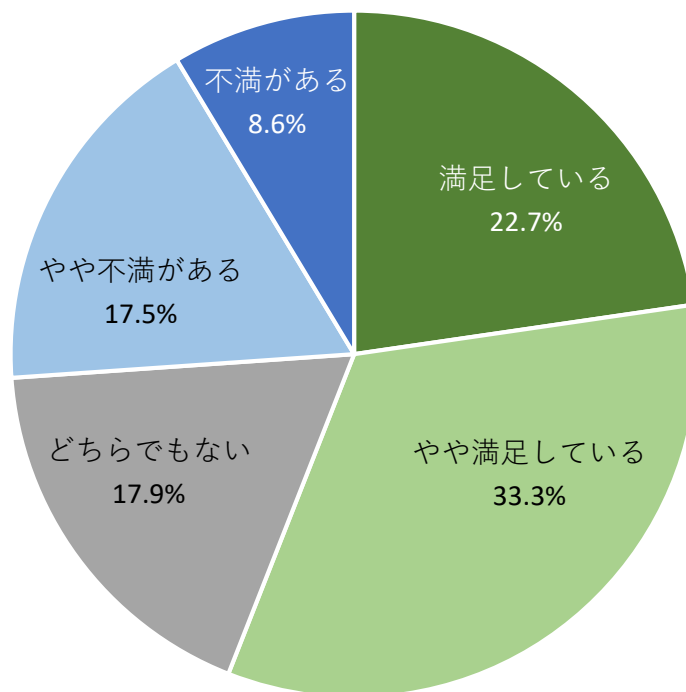
- 積極的に投入をしていくべき
- ある程度は投入しても構わないが、基本は民間に任せるべき
- 最低限必要な路線維持の場合のみ、投入しても構わない
- 民間に全て任せるべきで、税金と投入する必要はない
- 分からない

1. 市民の公共交通に対する意見

市民アンケート

◇茨木市内の「移動のしやすさ」に対し、「満足している」または「やや満足している」の回答が合計で55.9%であり、目標を達成した（計画策定当初：49.8% 目標値：55%）。

◆茨木市内の「移動のしやすさ」に対する満足度



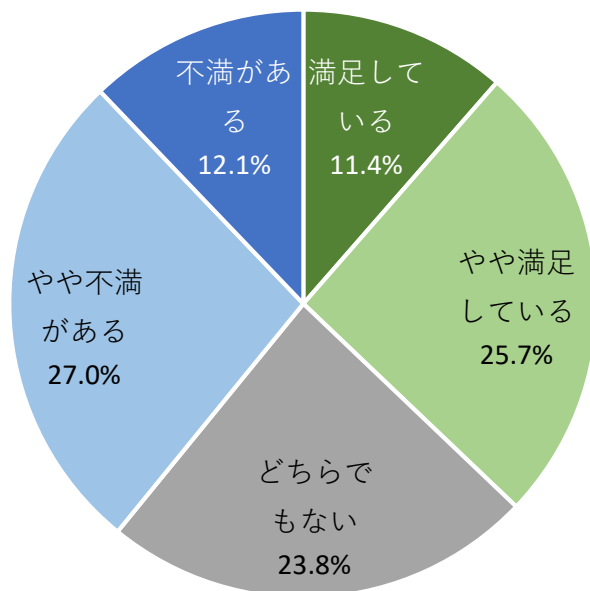
1. 市民の公共交通に対する意見

市民アンケート

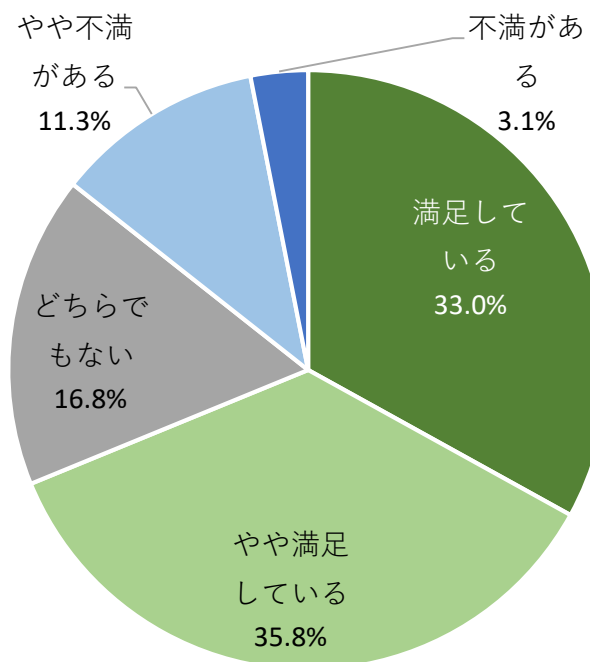
◇茨木市内の「自動車移動」に対する満足度は、「満足している」または「やや満足している」の回答が合計で37.1%となった。

◇茨木市内の「鉄道移動」に対する満足度は、「満足している」または「やや満足している」の回答が合計で68.8%であり、目標を達成した（計画策定当初：58.7% 目標値：65%）。

◆茨木市内の「自動車移動」に対する満足度



◆茨木市内の「鉄道移動」に対する満足度



※「分からない」および「未回答・不明」なサンプルは除いて集計

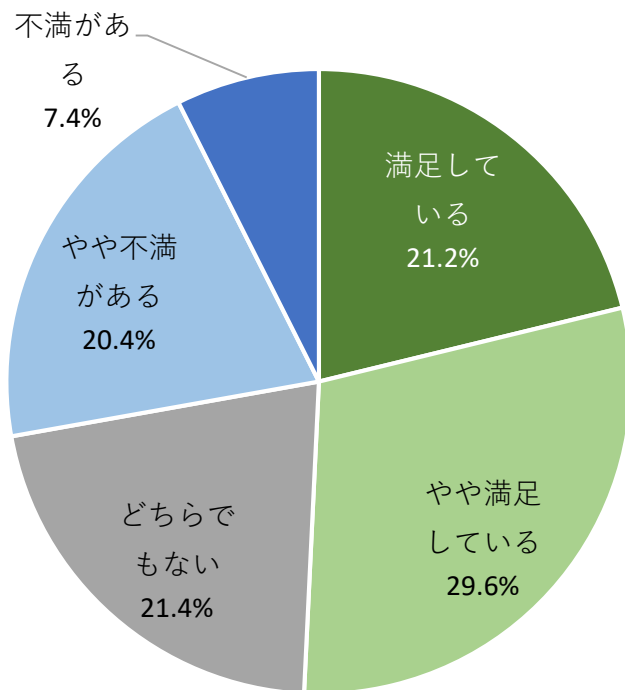
1. 市民の公共交通に対する意見

市民アンケート

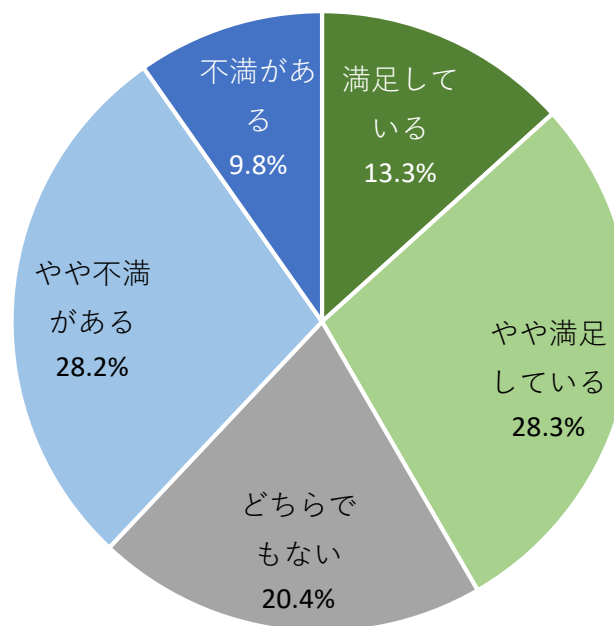
◇茨木市内の「徒歩移動」に対する満足度は、「満足している」または「やや満足している」の回答が合計で50.8%であり、目標を達成した（計画策定当初：39.9% 目標値：44%）。

◇茨木市内の「自転車移動」に対する満足度は、「満足している」または「やや満足している」の回答が合計で41.6%であり、目標を達成した（計画策定当初：28.4% 目標値：32%）。

◆茨木市内の「徒歩移動」に対する満足度



◆茨木市内の「自転車移動」に対する満足度

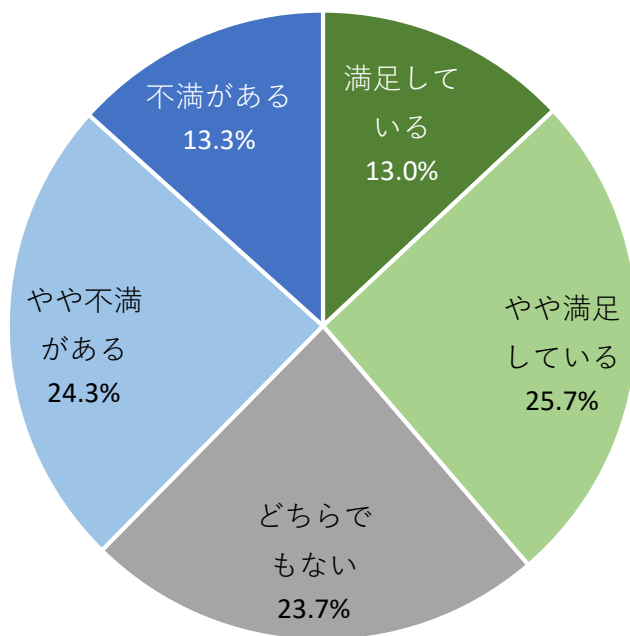


1. 市民の公共交通に対する意見

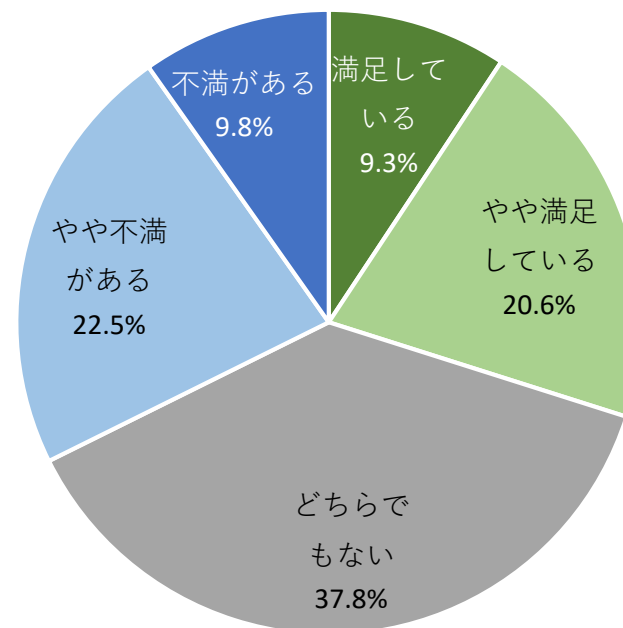
市民アンケート

- ◇茨木市内の「バス移動」に対する満足度は、「満足している」または「やや満足している」の回答が合計で38.7%であり、目標未達成となった（計画策定当初：49.4% 目標値：55%）。
- ◇茨木市内の「タクシー移動」に対する満足度は、「満足している」または「やや満足している」の回答が合計で29.9%となった。

◆茨木市内の「バス移動」に対する満足度



◆茨木市内の「タクシー移動」に対する満足度



市民アンケート

◆その他の公共交通に関する意見

★将来くらしていきたいまちとして・・・

- ✓ にぎやかな駅周辺、商店街 ・ 広々とした主要道路 歩行者、自転車に優しいまち
- ✓ ウォーカブルなまち
- ✓ どこに住んでも移動手段に困らない（ループバスなど）あれば嬉しい
- ✓ 公共交通機関で何処へでもアクセスしやすくなって、外出のハードルがもう少し下がると嬉しいです
- ✓ 高齢者でも移動に困らない便利な公共交通のある町
- ✓ 車がなくても運転しなくても便利な街

★現在の茨木市での生活に対して不安・不満を感じる点

- ✓ 無料で便利な交通機関（市バス）がないので高齢になっての移動が不安
- ✓ 歩行が困難になり病院通いが辛い。近くにバスの停留所がなく、タクシーに乗るのも高いので生活が大変
- ✓ バスの回数を増やしてほしい。免許証を返納したので不便
- ✓ 最終バスの時間をもう少し遅らせてほしい
- ✓ 山間部で生活しているが、交通手段が少ない
- ✓ 市営バスによる高齢者の支援がないのは仕方のないことだが、それに代わる何らかの交通費支援策があれば

2. タクシー事業者ヒアリング

タクシー事業者へのヒアリング

ヒアリング実施期間	令和5年9月14日～10月2日まで
ヒアリング相手 〔茨木市内に 本社・営業所を有する 法人タクシー会社〕	● 国際興業大阪株式会社 茨木営業所 ● ひかり交通株式会社 ● 株式会社未来都 茨木営業所 ● 北摂交通株式会社 ● 茨木高槻交通株式会社
合計車両台数	168台（うちUDタクシーは、26台）
合計運転手	265人（うち、60歳以上は169人）
配車依頼の方法	無線・アプリ・駅前広場のタクシー乗り場での待機など （アプリ未導入もあり）
利用が多い時間帯	午前7時～午前10時、午後4時～午後7時、雨天時等
ヒアリング項目	営業状況、利用者、今後の運行について 等

2. タクシー事業者ヒアリング

タクシー事業者へのヒアリング

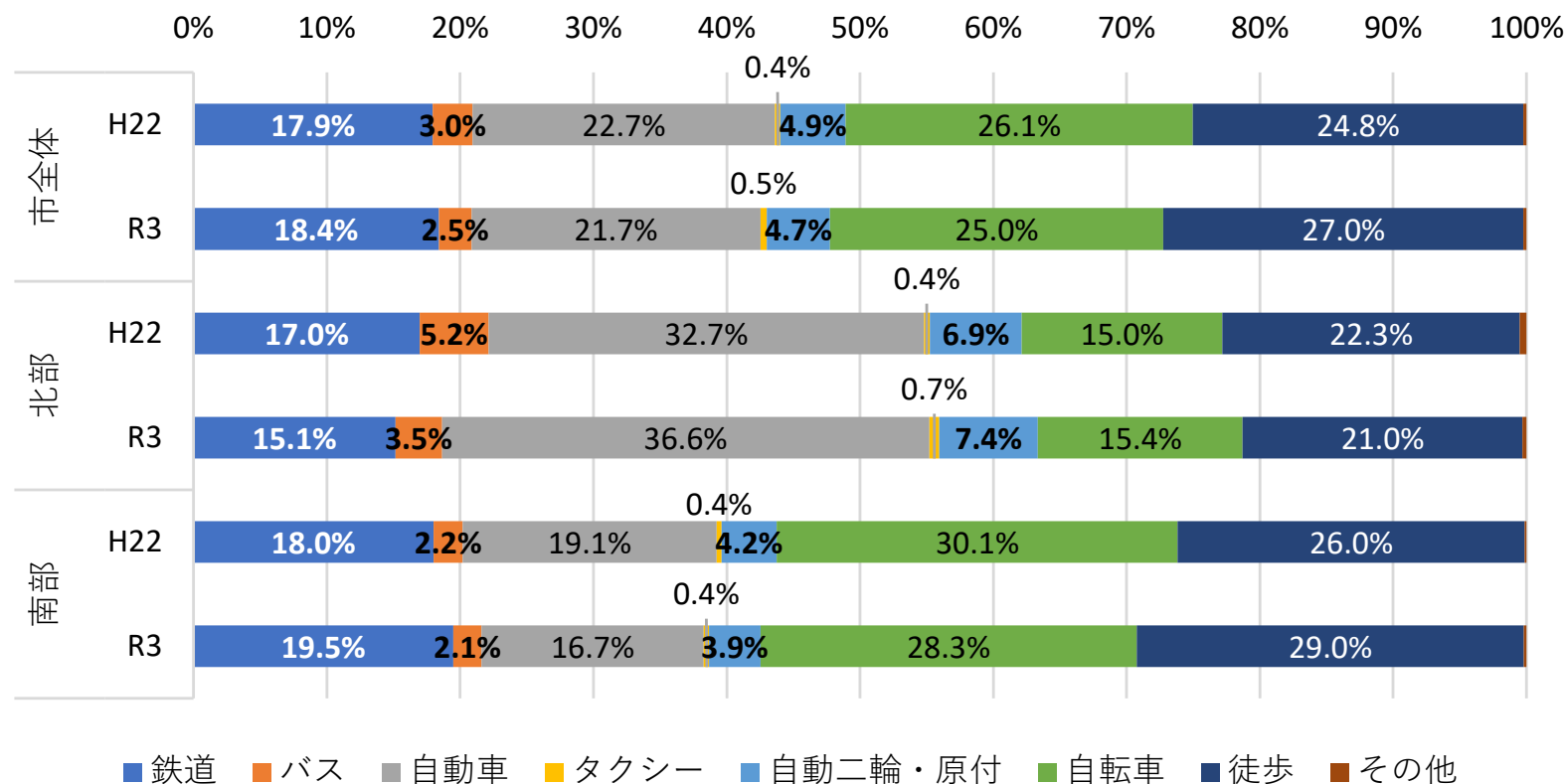
質問	主な回答
①新型コロナウイルスの影響について	✓ 夜間まで飲食している人が減ったので、夜間利用者が減った ✓ 売り上げはコロナ前に戻りつつある（運賃改定の影響もある）
②利用者について	✓ リピーターから一見の方や、年齢層も学生から高齢者まで様々。
③今後の運行について	✓ 現状のまま継続が多い
④利用者の声	✓ 値段が高い ✓ 車両台数が少ない ✓ 配車まで時間がかかる（配車依頼に十分応えられない場合も）
⑤営業継続のため問題となっていること	✓ 運転手が不足している（車が余っており、維持管理費が負担） ✓ 業界全体のイメージ・魅力向上が必要
⑥問題解決に向けて取り組んでいること	✓ 人材確保（求人など） ✓ 新たなビジネスモデルの検討
⑦行政に求める支援等	✓ 二種免許取得の支援、人件費に関する補助 ✓ 安易なライドシェア導入はやめてほしい（安全性に問題） ✓ 北摂地域で、福祉タクシーやバス、タクシー等、事業者と行政が合同で法人を立ち上げ、配車業務を一括で行えないか

3. 評価指標に関するデータ

(1) 交通手段分担率

- ◇公共交通（鉄道+バス+タクシー）の合計分担率は横ばい。
- ◇自動車分担率は、市全体で減少したが、山間部を含む北部で増加した。
- ◇バスの分担率は、南部は横ばいであるが、北部で減少し、市全体で減少した。
- ◇徒歩の分担率は、北部で減少したが、南部で増加し、市全体で増加した。

◆交通手段分担率の変化



3. 評価指標に関するデータ

(2) 事故発生件数

◇茨木市内の人身事故発生件数はR4時点で707件/年であり、目標を満足している

(計画策定当時) H23年：1,645件 ➡ (目標値) R3：1,480件

◇人身事故発生件数は、大阪府・茨木市ともに減少傾向であり、茨木市はより減少幅が大きい。

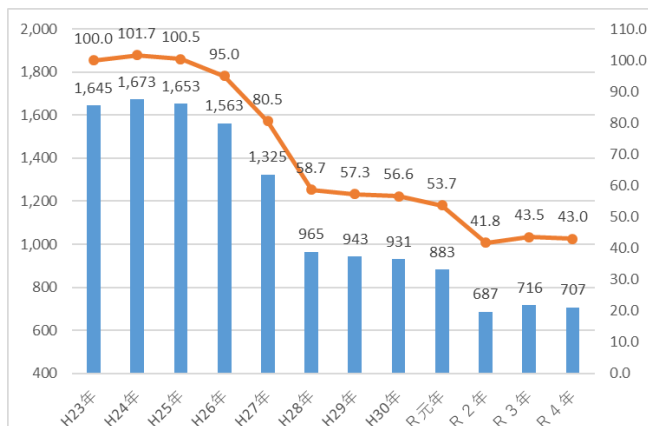
◇自転車に関連する事故割合は、府・市ともにH27年以降増加傾向であり、茨木市は府より大きい。

◆人身事故発生件数

(平成23年を100%とした場合の割合)

◆自転車関連事故割合

<茨木市>



<大阪府>

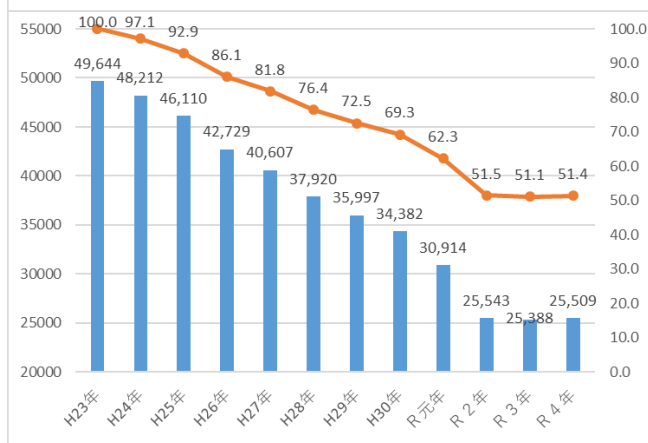


表 自転車関連事故件数

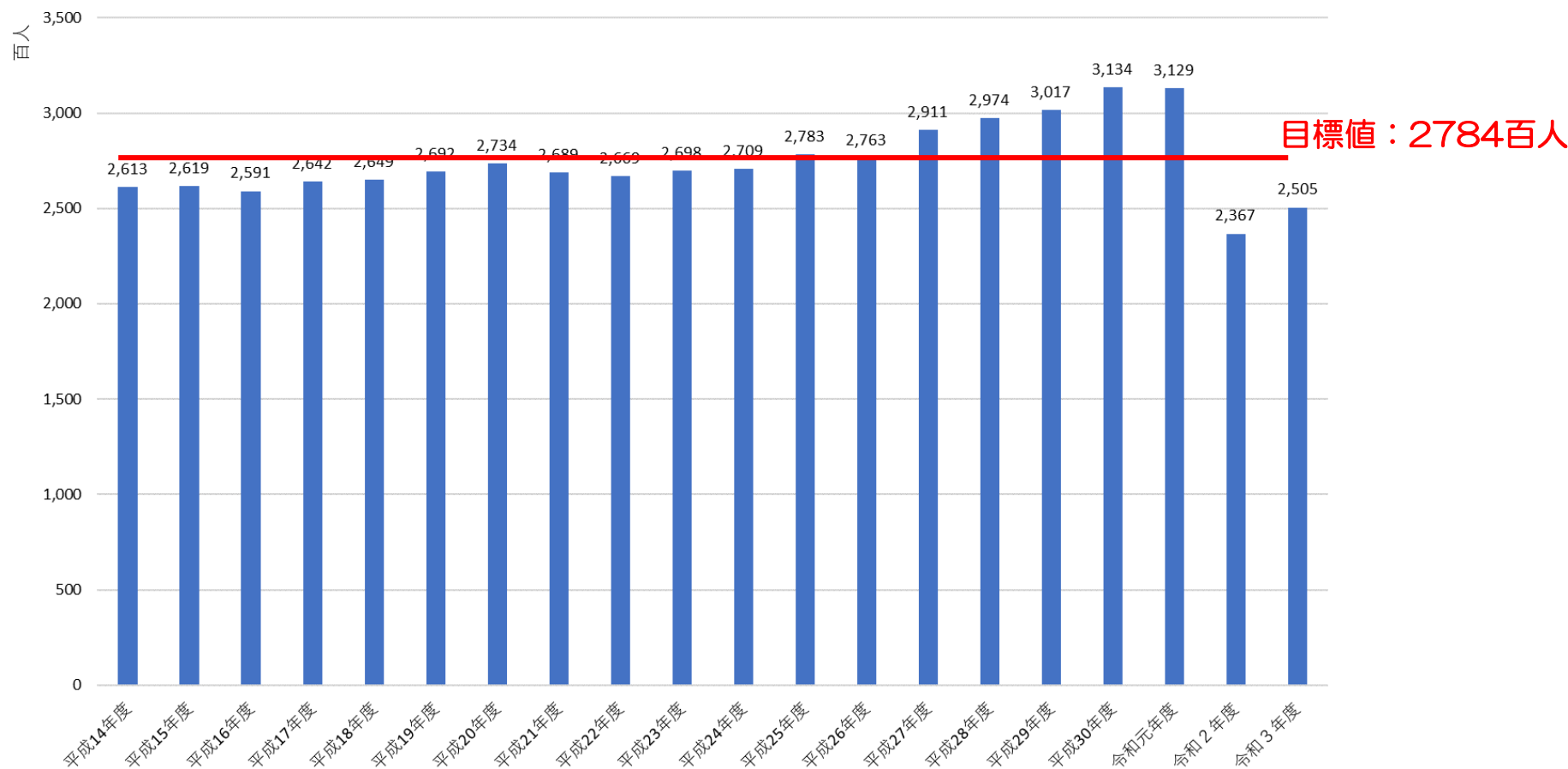
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
茨木市	550	594	560	506	381	305	280	286	273	261	273	267
大阪府	16,281	15,702	14,571	13,228	12,222	11,611	11,089	11,070	10,318	8,774	8,880	8,855

3. 評価指標に関するデータ

(3) 鉄道利用者数

◇鉄道の利用者数は、R元時点では目標値を達成したものの、新型コロナウイルスが流行したR2に大きく減少し、目標値を下回った。

◆鉄道利用者数の推移

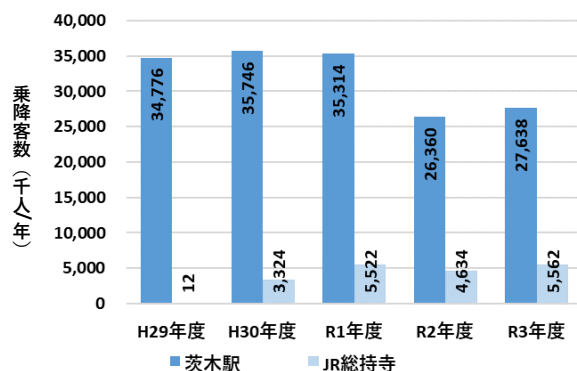


3. 評価指標に関するデータ

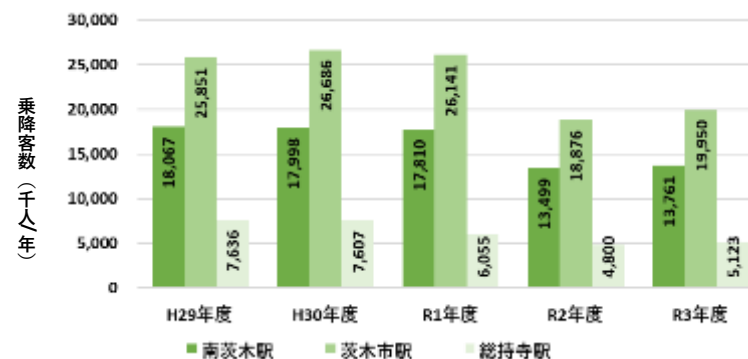
(3) 鉄道利用者数

◇JR茨木駅、阪急京都線、大阪モノレールの各駅の乗降客数は、新型コロナウイルスが流行したR2に大きく減少したが、R3には増加傾向に転じた。

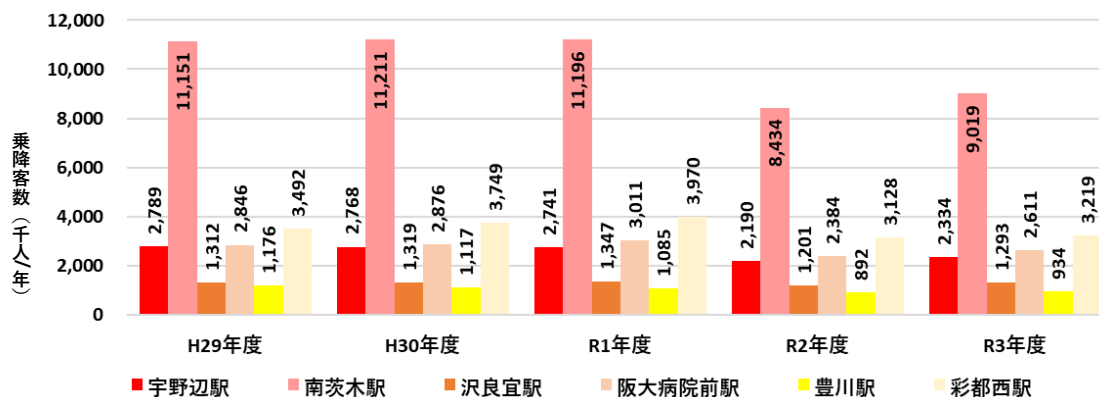
◆JR茨木駅 乗降客数の推移



◆阪急京都線各駅 乗降客数の推移



◆大阪モノレール各駅 乗降客数の推移

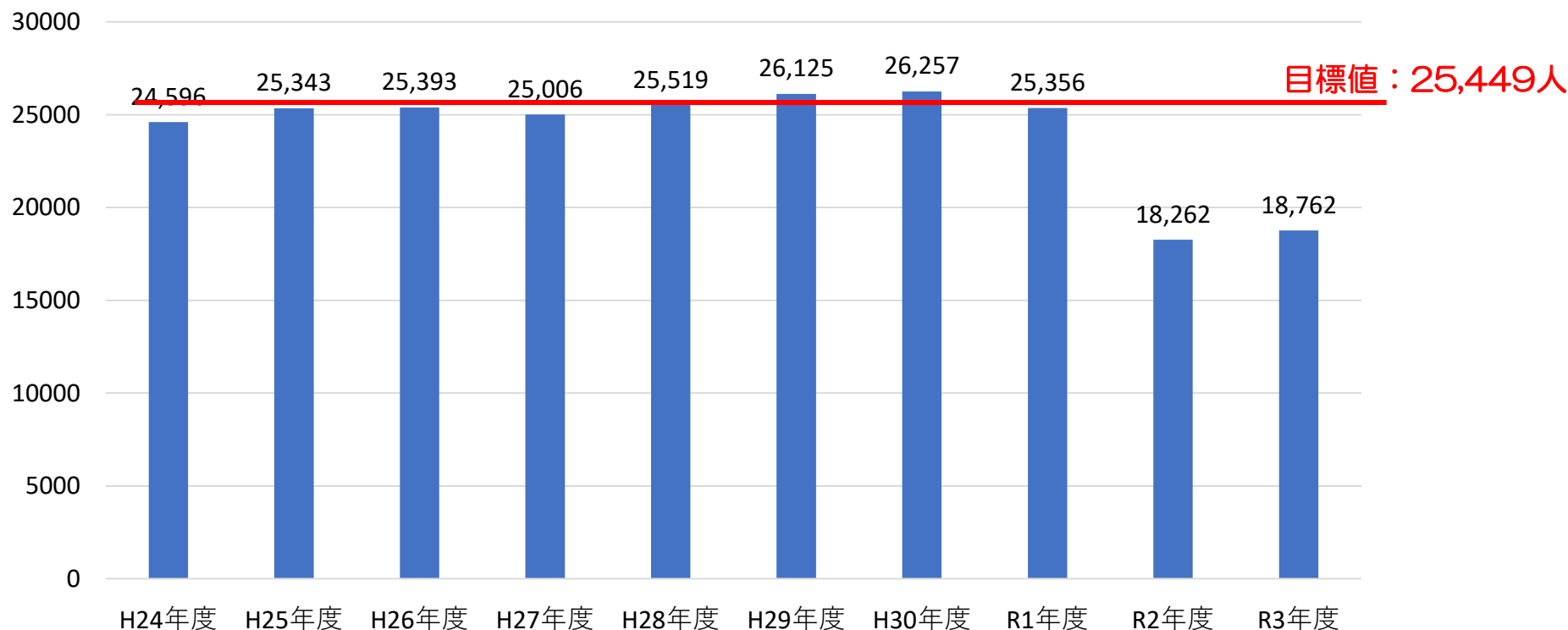


3. 評価指標に関するデータ

(4) バス利用者数

◇バスの利用者数は、H30時点では目標値を達成したが、新型コロナウイルスが流行したR2に大きく減少し、目標値を下回った。

◆バス事業者各社の利用者数の推移



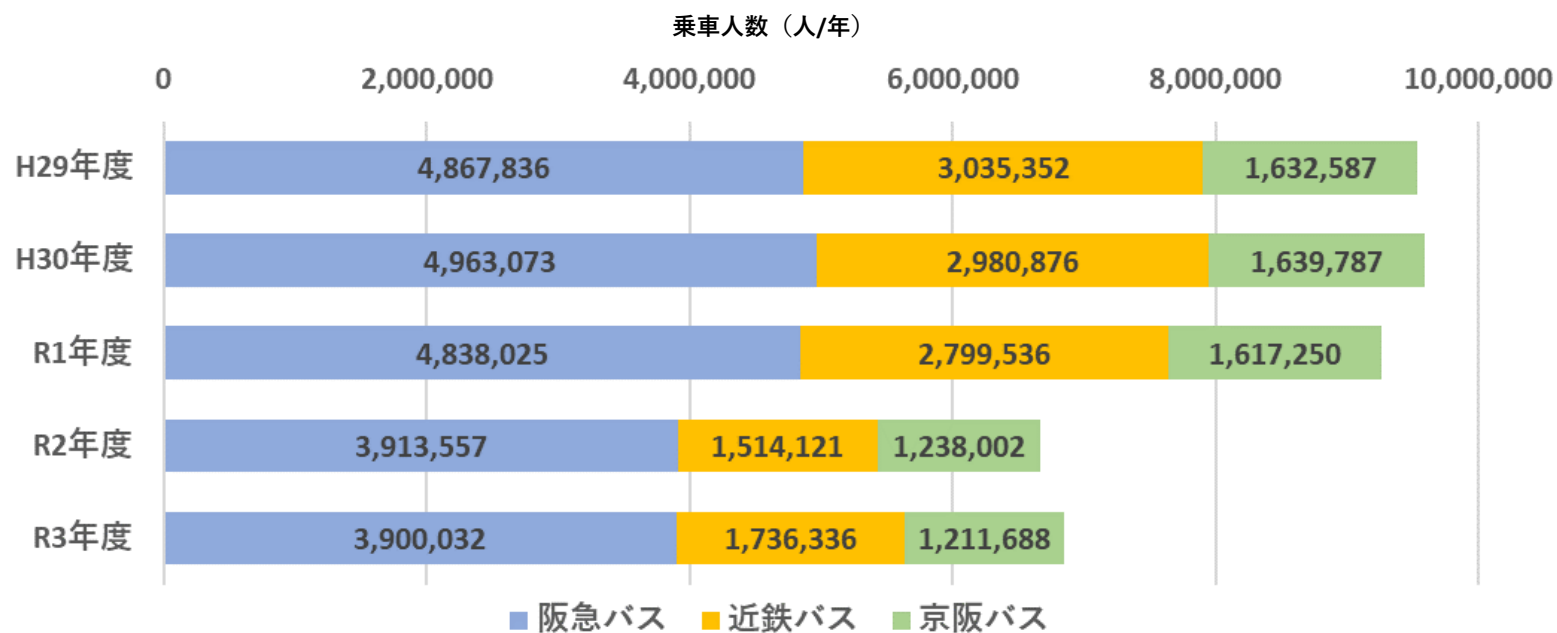
出典：茨木市統計白書

3. 評価指標に関するデータ

(4) バス利用者数

◇バス利用者数も鉄道等と同様の傾向であり、新型コロナウイルスが流行したR2に大きく減少したが、R3には増加傾向に転じた。

◆バス事業者各社の利用者数の推移



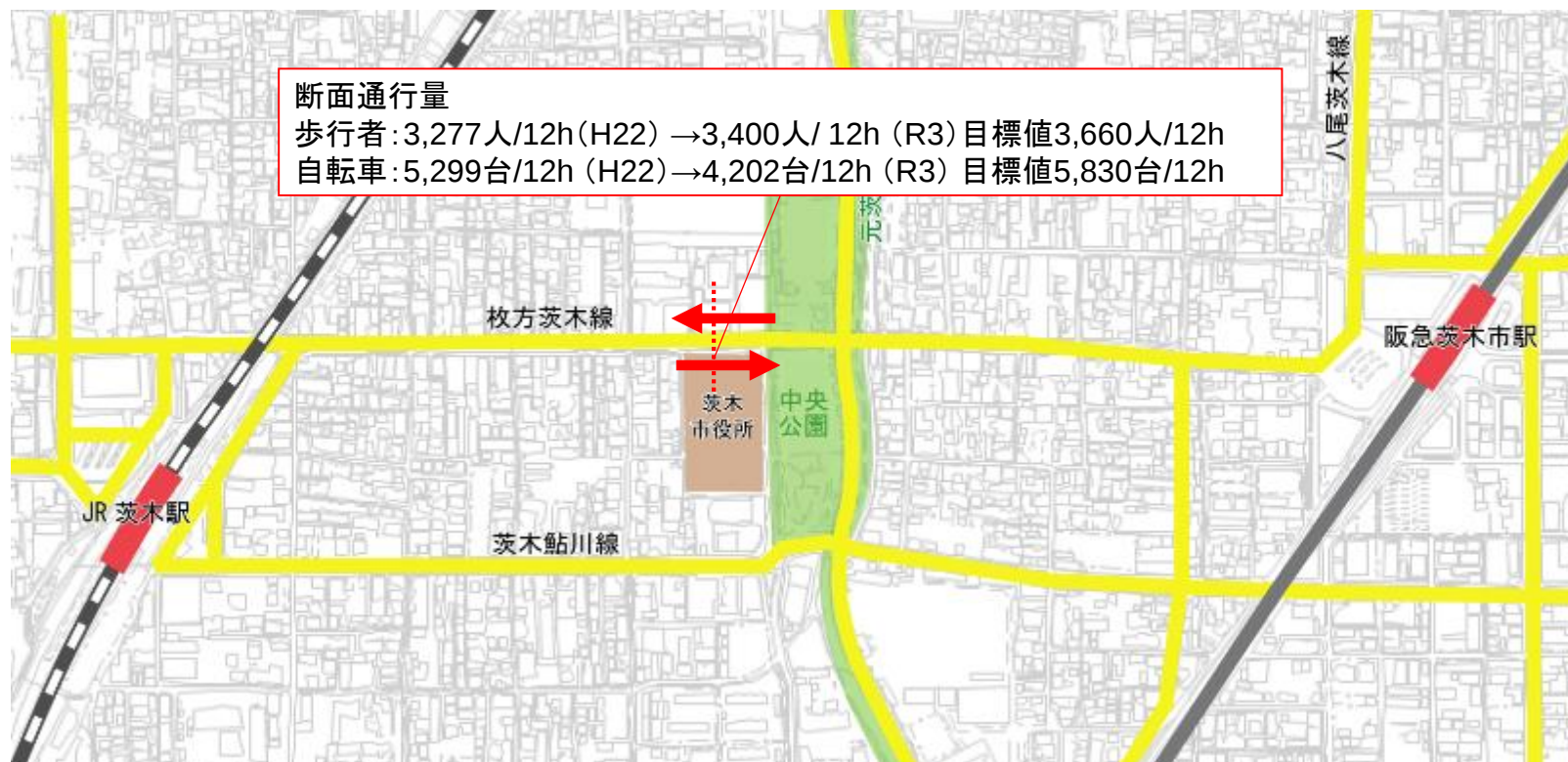
出典：茨木市統計白書

3. 評価指標に関するデータ

(5) 歩行者・自転車通行量

- ◇中心部の歩行者通行量は、中間見直し時（H27年）は3,600人/12hであり、目標値よりも増加していたが、R4年には減少し、策定時よりも増加しているが目標未達成となった。
- ◇中心部の自転車通行量は、中間見直し時（H27年）は5,830台/12hと増加傾向であったが、R4年には減少し、策定時よりも減少し、目標未達成となった。

◆歩行者・自転車通行量



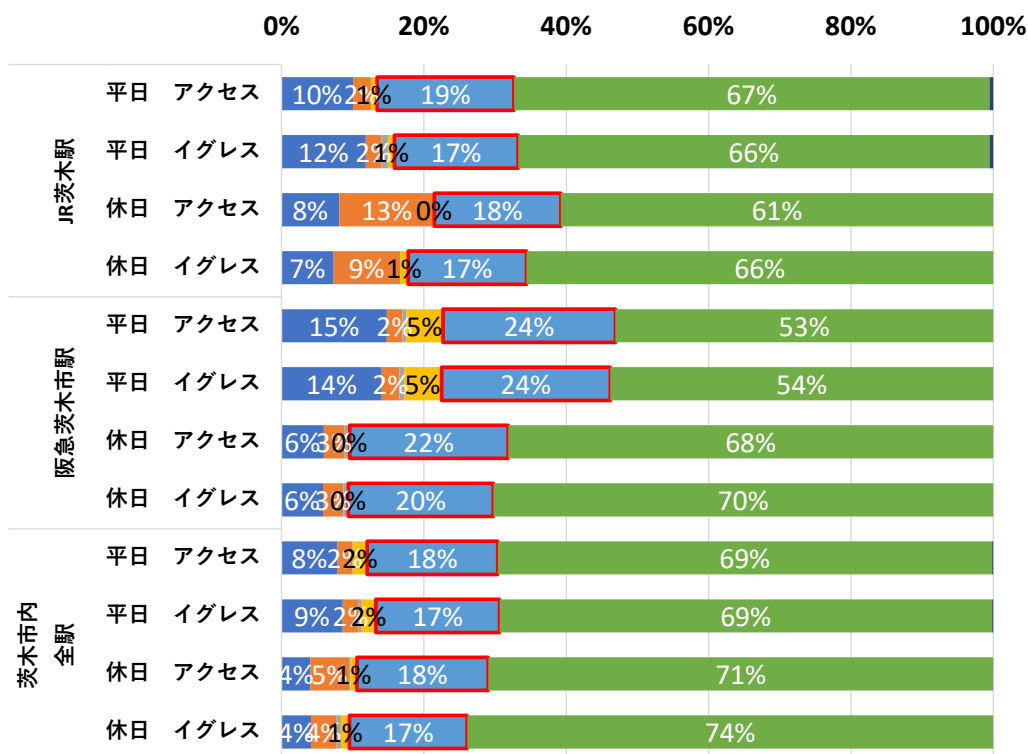
資料: H22道路交通センサス
観測地点交通調査基本区間番号「27601390100」

4. その他

(1) 自転車の利用状況について

- ◇ 茨木市内全駅の交通手段は、近畿及び大阪府に比べて「徒歩」以外の割合が高く、徒歩圏以外から利用者が多い。また、近畿及び大阪府に比べて「バス」や「自転車」の利用が多い。
- ◇ JR茨木駅と阪急茨木市駅は、平日の「バス」利用が多く、通勤通学の利用者が多い。
- ◇ JR茨木駅は、休日の「自動車」利用が多い。
- ◇ 阪急茨木市駅は、平日の「自転車」と「自動二輪・原付」の利用が多い。

JR茨木駅、阪急茨木市駅におけるアクセス・イグレスの交通手段



アクセス交通：駅に至るまでの主な交通手段
イグレス交通：駅から目的地までの主な交通手段

(参考) 大阪府・近畿2府4県

